



《一つの祈り
で
出来ること》

One for Israel

恵比寿マンディ

2020/11/16

ルーマニア系 ユダヤ人牧師（メシアニック・ジュー）

リチャード・ウルムブランド師（1909～2001年）



☆1967年「殉教者の声」～迫害下にあるクリスチャンを支援する国際団体～を設立。

◎ルーマニアのブカレスト生まれ。

◎9歳で父と死別。苦学の末、株の仲買人となり成功。

◎無神論者で、マルクス主義者。

◎裕福になっても、心に満足を感じることはなかった。

☆結核を患い、療養のため、山間の村で妻サビーナと生活。

療養中にドイツ出身の大工、クリスチャンであるクリスティアン・ウェルケスと出会う。

☆ 聖書を読み、メシアであるイエシュアと出会う。

妻と共に信仰を持つ。

大勢のユダヤ人をイエシュアに導く。

危険を顧みず宣教の働きを続ける。

☆国家権力による宗教弾圧のため ルーマニア在住のメシアニック・ジューの多くがイスラエルに避難。

☆ウルムブランド夫妻は ルーマニアに留まり、逮捕、投獄される。
ウルムブランド師は獄中でも隣の独房の囚人にモールス信号で伝道。
看守や拷問係にも 神の愛と赦しを示して、イエシュアに導く。

(1947年ソ連の圧力で王政廃止、社会主義国家へ。クリスチャンを迫害していたのは国家権力側。1989年東欧の民主化でチャウシェスクの独裁が終わり、民主化を実現)

☆奇跡的に釈放され、「殉教者の声」を設立。
宣教の困難な地に福音を届ける働き。
迫害下にあるクリスチャンを支援。

☆ウルムブランド師が救われたことで、数え切れないほどの人の人生が永遠に変わった。

釈放後 ルーマニアのある村での集会で お証を依頼され、ドイツ出身の大工さんに導かれ 福音に触れて 信じたと証した。
集会に参加していた車輪修理の職人ピッターの涙

